

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

| | | | |
|---|-------------------------------------|-------------------------|---------------------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 北海道 白老町 | 2 補助事業の種類 | 地域文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | アイヌ文化遺産総合活用推進事業 | | |
| 4 実施計画期間 | 平成 29 年度 ～ 平成 32 年度 | | |
| 5 実施計画の概要 | | | |
| <p>アイヌ民族の尊厳と自律を回復するとともに、アイヌ文化を次の世代、未来の子どもたちに引き継ぐために、今後の白老町における中長期的な展望に立ち総合の方針として定めた「白老町アイヌ施策基本方針」に基づき、文化遺産総合活用推進事業を活用し、アイヌ文化に対する関心・意識の向上、同文化遺産の保存活用、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化に寄与させ、2020年民族共生象徴空間開設に向け、伝承の後継者養成等を進めることにより、アイヌ文化に対する関心や意識の向上、同文化遺産の保存活用、次世代への確実な継承とともに、2020年の民族共生象徴空間開設時には国が掲げる年間目標来場者数100万人を目指す。</p> | | | |
| 6 実施体制 | | | |
| <p>本実施計画に係る全体の企画・調整及び補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 アイヌ総合政策課 アイヌ施策推進グループ また、補助事業は次の団体が実施する。 アイヌ文化遺産活用地域活性化推進協議会（会長：白老町長） 構成員：白老町、（一財）アイヌ民族博物館、（一社）白老観光協会、白老町商工会、白老アイヌ協会</p> | | | |
| 7 実施計画における目標と期待される効果 | | 別紙①のとおり | |
| 8 補助事業の概要 | (1) 補助金額 | ～平成28年度交付決定額： 59,931 千円 | 平成29年度申請額： 9,464 千円 |
| | (2) 実施事業の概要 | 別紙②のとおり | |
| 9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載） | | | |
| <p>2020年民族共生象徴空間開設までの閉館期間中における伝承の後継者養成や教材作成等を進め活用することが、アイヌ文化に対する関心・意識の向上、同文化遺産の保存活用、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化に期待できる。また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築されるとともに、「民族共生象徴空間」に目標（100万人）としている観光客の増加に寄与することができる。</p> | | | |
| 10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など） | | | |
| 事業概要： | 自主財源2,559,970円は、実施主体のアイヌ民族博物館が負担する。 | | |
| 事業概要： | | | |
| 事業概要： | | | |
| 11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等 | | | |
| <p>本事業の実施により地域一体となって保存・活用を図る機運を醸成し、今後検討を進めていく。</p> | | | |
| 12 担当部局 | | | |
| 地方公共団体 担当部局課 | 白老町 アイヌ総合政策課 アイヌ施策推進グループ | | |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

| | | | | | | |
|------------|---|----------|----------|----------|----------|----------|
| 目標区分 1 : | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分 1 : | 地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 1 : | 2020年民族共生象徴空間への年間来乗客数 | | | 関連事業: | ①、② | |
| 目標値 1 : | 平成 29 年度 20 万人 ⇒ 平成 32 年度 100 万人 | | | | | |
| 設定根拠 1 : | アイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとする民族共生象徴空間について、平成27年10月1日に開催された第7回アイヌ政策推進会議において、国が年間目標来場者数を100万人と掲げたため。 | | | | | |
| 進捗状況 1 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 | 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 |
| | 万人 | 万人 | 万人 | 万人 | 万人 | 万人 |
| | | | | | | |

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

| | | | | | | |
|----------------|--|--------------|---------------------|----------------|----------------------|----------|
| 事業①： | アイヌ民族芸能資料のアーカイブ化 | 実施団体： | 一般財団法人 アイヌ民族博物館 | | | |
| 事業区分： | 記録作成 | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 30 年度 | | | |
| 事業概要： | (1) アイヌの民族芸能、儀式、口承文芸などの記録資料をデジタル化し、WEBサイトに公開する（内容や著作権により限定公開） (2) 内容のテキスト化、楽譜化とアーカイブ化により、同じPC画面上で資料検索、再生、アイヌ語の歌詞や語り、対訳、楽譜等の視聴が可能な環境をつくる。 (3) 伝統芸能公演において、日本語字幕、解説映像、デジタル絵本等の映像と実演を組み合わせ公開・活用する（試験的運用） | | | | | |
| 評価指標区分： | ・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等 | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 掲載HP及びYOUTUBE等の閲覧回数 | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 0 アクセス ⇒ | | 平成 32 年度 10,000 アクセス | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 | 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 |
| アクセス | | アクセス | アクセス | アクセス | アクセス | アクセス |
| | | | | | | |
| 事業②： | 博物館所蔵の写真・映像資料のデジタルアーカイブ作成 | 実施団体： | 一般財団法人 アイヌ民族博物館 | | | |
| 事業区分： | 記録作成 | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 30 年度 | | | |
| 事業概要： | (1) アイヌ民族博物館が所蔵する写真資料約5万点及び映像資料約600点について整理し、デジタル化を行う。 (2) 写真・映像の分類、タグ付け等を行い、データベースに登録し、検索・閲覧可能にする。 (3) 公開可能なものから当館HPアイヌ語アーカイブ、YOUTUBE等のWEB上で共有する。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等 | | | （具体的な指標は次のとおり） | | |
| 具体的な指標： | 掲載HP及びYOUTUBEの総閲覧回数 | | | | | |
| 目標値： | 平成 28 年度 | | 0 アクセス ⇒ | | 平成 32 年度 10,000 アクセス | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 | 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 |
| アクセス | | アクセス | アクセス | アクセス | アクセス | アクセス |
| | | | | | | |